

令和元年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策
【多文化共生社会の形成の推進に関する条例第 2 1 条に基づく報告】

令和 2 年 6 月
宮 城 県

目 次

基本方針と多文化共生施策の方向性	1
1 令和元年度に講じた多文化共生施策	
(1) 「意識の壁」の解消	
① 多文化共生シンポジウム開催事業	2
② 啓発ツール作成事業	3
③ 多文化共生社会推進審議会運営事業	4
④ 多文化共生地域会議開催事業	5
(2) 「言葉の壁」の解消	
① 災害時通訳ボランティア整備事業	6
(3) 「生活の壁」の解消	
① みやぎ外国人相談センター設置事業	7
② 技能実習生等との共生の地域づくり推進事業	8
③ 外国人労働者等の受入体制のあり方に係る有識者会議運営事業	9
④ 外国人留学生定着事業	10
⑤ 外国人雇用アシスト事業	11
2 宮城県多文化共生社会推進計画の評価指標における進捗状況	12

基本方針と多文化共生施策の方向性

(第3期宮城県多文化共生社会推進計画より)



【参考1】多文化共生社会の定義（条例第2条関係）

「多文化共生社会」とは、国籍、民族等の異なる人々が、互いに、文化的背景等の違いを認め、及び人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きる社会をいう。

【参考2】議会への報告等（条例第21条関係）

知事は、毎年度、多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策を県議会に報告するとともに、公表するものとする。

1 令和元年度に講じた多文化共生施策

(1) 「意識の壁」の解消

【事業の取組方針】

「意識の壁」の解消に向け、広く基本理念の普及・啓発を行い、県民や関係機関等との推進体制の整備を図る。

① 多文化共生シンポジウム開催事業（事業費：467,740円）

「多文化共生「新」時代 多様性をまちの魅力に」をテーマに、地域で学び、暮らし、働いている外国人と多文化共生がもたらす地域の未来をともに考える「多文化共生シンポジウム in せんだい」を仙台市と共催で開催し、基調講演やパネルディスカッションを通じて、多文化共生に関する理解促進を図った。

■日 時：令和2年1月19日（日） 午後1時から午後4時30分まで

■場 所：エル・パーク仙台 スタジオホール

■来場者数：130人

■プログラム：

□講 演：有限会社 BRUCE INTERFACE ウィットレッド・ブルース・エドワード氏
「It's Showtime! ～変化のチカラ～」

□現状報告：宮城県経済商工観光部参事兼国際企画課長 成田 美子
仙台市文化観光局交流企画課交流推進担当課長 横田 大輔

□基調講演：武蔵大学 教授 アンジェロ・イシ氏
「多様性を認め合う協働の時代～「在日ブラジル人一世」からの提言～」

□パネルディスカッション：

「学び、暮らし、働く～外国人の若者と共に～」

・コーディネーター 宮城教育大学 教授 市瀬 智紀氏

・パネリスト 武蔵大学 アンジェロ・イシ氏

株式会社ウジエデリカ 児玉 宗泰氏

仙台国際日本語学校 今江 寿史氏

仙台在住7年 ラトビア出身 アリーセ・ドンネレ氏





(シンポジウムの様子)

(シンポジウムのチラシ)

② 啓発ツール作成事業 (事業費：70,184円)

クリアファイルを作成し、県民等に向け配布することで、多文化共生の基本理念に関する普及啓発を図った。

(クリアファイル)

③ 多文化共生社会推進審議会運営事業（事業費：165,384円）

宮城県多文化共生社会推進審議会を開催した（2回）。前年度に講じた施策や令和2年度多文化共生推進事業について審議した。

■第一回 令和元年6月6日（木）〔出席委員：8人〕

議 事 (1)平成30年度多文化共生社会の形成の推進に関して講じた施策について
(2)平成31年度多文化共生推進事業について

■第二回 令和2年2月13日（木）〔出席委員：8人〕

議 事 (1)多文化共生推進に向けた主な取組について



（審議会の様子）

■委員名簿（敬称略・五十音順）

任期：2年（令和2年4月1日現在）

	所属・役職	氏 名	備 考
1	東北学院大学経済学部共生社会経済学科 教授	石 川 真 作	
2	宮城教育大学教員キャリア研究機構 教授	市 瀬 智 紀	会長
3	みやぎ外国人相談センター相談員	金 才 努	
4	SenTia 通訳サポーター MIA 国際理解教育講師 MIA 外国籍子どもサポーター	小松崎 あんな	
5	東北大学高度教養教育・学生支援機構 グローバルラーニングセンター教授	末 松 和 子	副会長
6	仙台市立八幡小学校教諭	田 村 由 香 子	
7	宮城県中小企業団体中央会副会長	針 生 英 一	
8	仙台弁護士会	藤 田 祐 子	
9	東北医科薬科大学地域医療学教室助教 東北医科薬科大学病院総合診療科医師	宮 澤 イザベル	
10	宮城労働局職業安定部長	山 下 禎 博	

④ 多文化共生地域会議開催事業（事業費：0円）

地域における多文化共生にかかる情報共有・先進事例の横展開を目的として、県と総務省が共催で開催した。【総務省令和元年度新規事業】

■日時：令和元年7月18日（木） 午前9時30分から午後0時30分まで

■場所：宮城県行政庁舎2階 講堂

■出席者：80人

■プログラム

□行政説明：宮城県経済商工観光部参事兼国際企画課長 成田 美子

：総務省自治行政局国際室 参事官補佐 白井 智彦

□基調講演：東北大学 高度教養教育・学生支援機構グローバルラーニングセンター

准教授 高橋 美能 氏

「多文化共生社会の実現に向けて」

□県内先進事例紹介

・（公財）宮城県国際化協会 総括マネージャー 大泉 貴広 氏

「外国人技能実習生と地域住民とのつながりづくり」

・外国人の子ども・サポートの会 代表 田所 希衣子 氏

「外国人児童生徒への学習支援の取組」

・（公財）仙台観光国際協会 国際化事業部国際化推進課長 須藤 伸子 氏

「行政や自治会との協働」

□講評：宮城教育大学教員キャリア研究機構 機構長 市瀬 智紀 氏

（宮城県多文化共生推進審議会 会長）



（地域会議の様子）

(2)「言葉の壁」の解消

【事業の取組方針】

「言葉の壁」の解消に向け、多言語化支援を行うとともに、外国人県民等への学習支援を図る。

① 災害時通訳ボランティア整備事業（事業費：165,044円）

（公財）宮城県国際化協会（MIA）に委託し、県内で大規模災害が発生した際に、被災地からの要請に応じ速やかに通訳ボランティアを派遣できる体制整備を図るとともに、通訳ボランティアの確保・養成を行った。令和元年度末時点で165人・19言語での対応が可能となった。

■研修会の開催

MIA外国人支援通訳サポーター・災害時通訳ボランティア合同研修会

内容：「宮城県内在留外国人の状況とMIA外国人支援通訳サポーターについて」

「グループディスカッション（こんなとき通訳のあなたはどのようにする？）」

日時：令和2年5月22日（水） 参加者：48人

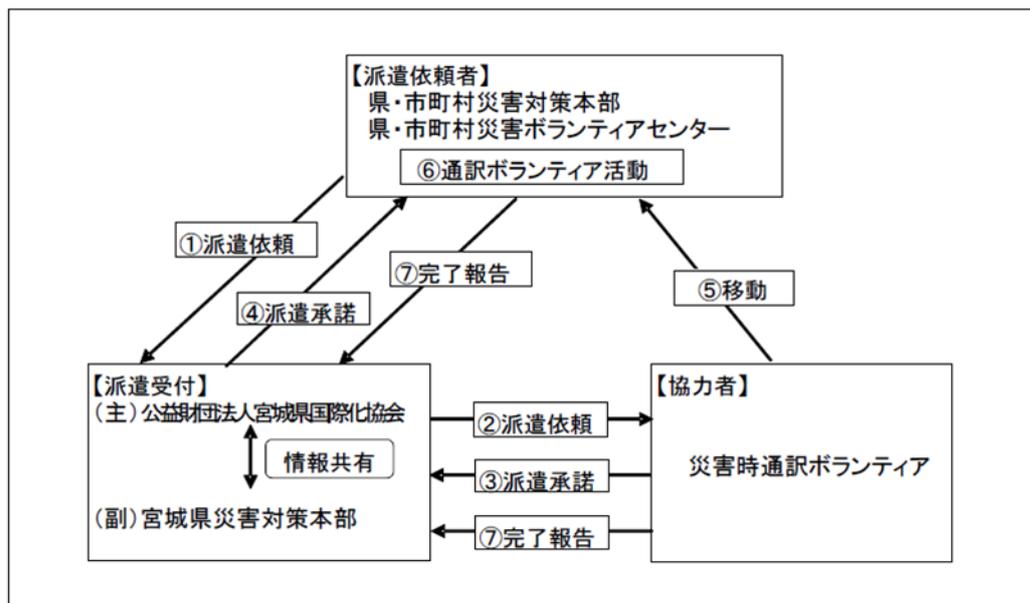
■災害時における通訳ボランティアの活用

内容：令和元年東日本台風（R1.10発生）に関する注意喚起文の翻訳

日時：令和元年10月14日（月）から25日（金）まで

人数：延べ12人（6言語）

■派遣フロー図



(3) 「生活の壁」の解消

【事業の取組方針】

「生活の壁」の解消に向け、外国人県民等のサポートを行うとともに、活躍の支援を図る。

① みやぎ外国人相談センター設置事業（事業費：13,182,533円）

（公財）宮城県国際化協会（MIA）に委託し、外国人県民やその家族から寄せられた相談に対して、必要な情報提供や専門窓口の紹介など問題解決に向けたアドバイスを行い、外国人県民の不安解消、問題解決等に寄与した。

相談センターには、外国人県民、相談機関の担当者を配置するとともに、相談センター相談員の三者での通話が可能な「トリオフォン」機能を付加した電話機を設置している。

また、国の交付金を活用し外部多言語コールセンターを利用することで、対応言語を9から13言語に拡充するとともに、相談室の改修工事や必要機器の導入、相談窓口の広報用ツールの作成・配布等を行い、同センターの更なる機能強化を図った。

■相談センター相談員の対応言語

日本語、英語、中国語、韓国語、タガログ語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語

※ポルトガル語及び相談員の勤務日以外に上記言語での相談があった場合は、三者通話

（トリオフォン）により随時対応

■外部多言語コールセンターの対応言語

相談センター相談員の対応言語の他、ロシア語、スペイン語、タイ語、ヒンディー語

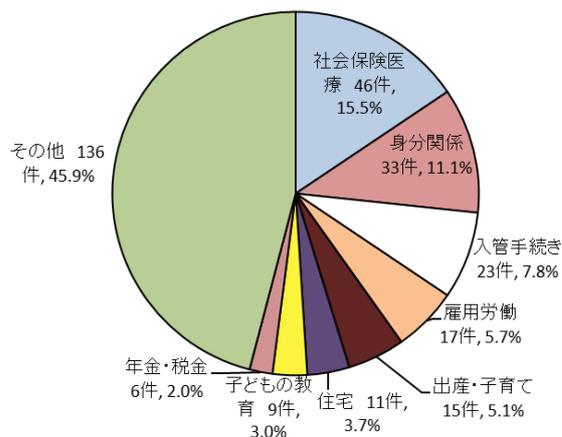
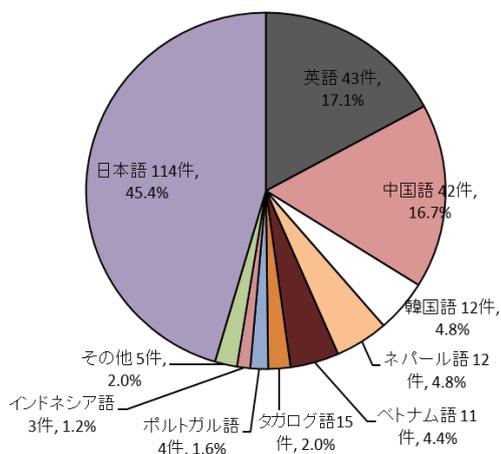
■相談対応件数 251件

■男女構成比 女性132件（53%）、男性119件（47%）

■相談手段 来所29件（12%）、電話214件（85%）、メール8件（3%）

■相談対応言語

■相談内容



② 技能実習生等との共生の地域づくり推進事業（事業費：1,688,500円）

地域における受入環境整備を図るため、地域住民や技能実習生に向けたそれぞれのセミナーを開催するとともに、技能実習生と地域住民との交流の機会を創出した。

■「ベルサマ気仙沼」

□日 時：令和元年9月8日（日） 午前10時から午後2時まで

□場 所：気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ

□参加者：160人（外国人技能実習生，地域住民等）

□内 容：

- ・地域住民向け，技能実習生等外国人向けセミナー
- ・文化体験（茶道・書道・浴衣体験・民族衣装体験（日本人向け））
- ・交流会（ミニセミナー，食事会，演奏やダンス）



（交流会の様子）

■「石巻インターナショナル交流会」

□日 時：令和元年11月24日（日） 午前10時から午後2時まで

□場 所：石巻市総合福祉会館 みなと荘

□参加者：130人（外国人技能実習生，地域住民等）

□内 容：

- ・文化体験（茶道，渡波獅子風流（獅子舞演舞，太鼓，カネなどの演奏））
- ・地元住民向け，技能実習生等外国人向けセミナー
- ・交流会（軽食を囲んだ交流会）
- ・地元住民，実習生による伝統舞踊などの披露



（交流会の様子）

③ 外国人労働者等の受入体制のあり方に係る有識者会議運営事業

(事業費：79,936円)

外国人労働者等の地域社会での受入や共生のあり方に関する検討を行い、その内容を今後の施策等に反映させるため、有識者による意見交換を実施した(1回)。

■ 第一回 令和元年11月12日(火) [出席委員：9人]

意見交換 外国人労働者等の地域社会での受入及び共生のあり方等について

(第二回は令和2年3月開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により延期)



(会議の様子)

■ 構成員名簿 (敬称略・五十音順)

	所 属 ・ 役 職	氏 名	備 考
1	(公財) 宮城県国際化協会 総括マネージャー	大 泉 貴 広	
2	みやぎオーバースー協同組合 専務理事	國 分 貴 之	
3	宮城労働局職業安定部長	山 下 禎 博	
4	東洋ワーク(株) 経営企画・事業開発部 副部長兼 国際事業部長	里 見 誠	
5	(株) 菅原工業 代表取締役専務	菅 原 涉	
6	(公財) 仙台観光国際協会 国際化推進課長	須 藤 伸 子	
7	東北大学法学部法学研究科 教授 (国際関係論)	戸 澤 英 典	座長
8	仙台弁護士会	松 林 昌 紀	
9	出入国在留管理局 総括審査官	八 木 良 幸	

④ 外国人留学生定着支援事業（事業費：7,912,900円）

県内企業の海外展開に向けた推進と、それによる本県経済の活性化を図るため、以下の事業を実施し、外国人留学生による県内企業への就職を支援した。

■外国人留学生定着支援事業

□「外国人留学生人材バンク」及び「受入企業バンク」の形成

【登録数】外国人留学生人材バンク：留学生 67 人

受入企業バンク：42 社（うち県内企業 35 社）

□受入企業向けセミナーの実施（1回）（参加企業 17 社）

□企業と留学生との交流会の実施（3回）（参加企業計 40 社，参加学生計 85 人）

□外国人留学生向け県内企業バスツアーの実施（1回）（訪問先企業 3 社，参加学生 24 人）

□外国人留学生向け個別企業訪問の実施（2回）（参加学生計 8 人）

□合同就職説明会の実施（新型コロナの影響により中止）

■外国人留学生による県内企業就職情報誌作成事業（作成部数 2,900 部（日本語版，英語版））

■インターンシップ受入企業への補助金（交付先企業 3 社）



（企業と留学生の交流会の様子）



（バスツアーの様子）



（県内企業就職情報誌の表紙）

⑤ 外国人雇用アシスト事業（事業費：15,108,572円）

県内中小企業における外国人材の受入環境の整備を総合的に支援するため、企業相談窓口を設置するとともに、企業向けセミナー、外国人向けセミナー、合同企業説明会等を実施し、企業における外国人材の採用・活用を図った。

- 企業向けセミナーの実施（10回）（参加企業数計234社）
- 外国人向けセミナーの実施（10回）（参加者数計278人）
- 外国人向け合同企業説明会（3回）（参加企業数計31社、参加者数計259人）
- 県内企業における外国人採用及び就業に関する状況調査（2回）（回答社数計154社）
- 相談窓口の設置（件数307件）
- コンプライアンス研修（3回）（参加者数計99人）



（外国人向け合同企業説明会の様子）



（企業向けセミナーの様子）

2 宮城県多文化共生社会推進計画の評価指標における進捗状況

評価指標 1 多文化共生啓発事業を実施している市町村数

■指標説明

市町村が実施する啓発関連イベントのほか、関係部署・関係者との会議の開催を含む

■目標値 R5：35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R1：14市町村

【実施市町村】

仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、多賀城市、登米市、栗原市、蔵王町、亘理町、七ヶ浜町、涌谷町、美里町

【H30（12市町村）からの増減】

5市町増加した。（白石市、登米市、亘理町、涌谷町、美里町）

3市町減少した。（大崎市・富谷市（令和元年東日本台風により中止）、加美町（新型コロナウイルス感染症の影響により中止））

評価指標 2 多文化共生に関する説明会等に参加した県民の数

■指標説明

町内会、民生委員など地域の推進役に対する各種研修会等での多文化共生に関する説明、情報提供などに参加した県民の数

■目標値 R5：2,300人

【考え方】

年10%の増加を見込んだ数

■進捗状況 R1：441人

【結果】

R元年度は、441人の参加。

【内訳】

- ①宮城県：「多文化共生シンポジウム in せんだい」（参加者130人）
「多文化共生地域会議」（参加者80人）
- ②仙台市：「市政出前講座（外国人とともに暮らす社会づくり）」（参加者26人）
「仙台まちづくりフォーラム」（参加者114人）
- ③気仙沼市：「外国人のための防災講座」（参加者29人）
- ④名取市：「国際交流ボランティア対象の研修会」（参加者30人）
- ⑤（公財）宮城県国際化協会：「スポーツと国際協力・国際交流」（参加者32人）
※大崎市：「多文化共生シンポジウム」は令和元年東日本台風により中止。

評価指標 3 多言語による生活情報の提供実施市町村数

■指標説明

生活に関する情報を日本語以外の言語で提供している県内の市町村の数

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 R1 : 27市町村

【実施市町村】

仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、岩沼市、登米市、栗原市、東松島市、大崎市、富谷市、蔵王町、大河原町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、七ヶ浜町、大和町、大郷町、色麻町、美里町、女川町、南三陸町

【H30(25市町村)からの増減】

2市町増加した。(東松島市、村田町)

評価指標 4 日本語講座など日本語学習支援及び関連する取組を実施している市町村数

■指標説明

日本語講座や日本語教室の開設に加え、その他の日本語学習支援や関連する取組を含む

■目標値 R5 : 35市町村

【考え方】

最終的にはすべての市町村による実施が望ましいことから、県内35市町村を目標に設定

■進捗状況 H1 : 14市町村

【実施市町村】

仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、角田市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、亘理町、松島町、美里町、南三陸町

【H30(14市町村)からの増減】

増減なし。

評価指標 5 外国人相談対応体制を整備している市町村数

■指標説明

他団体等と連携して外国人相談に対応できる体制を整備している場合も含む。

■目標値 R5：15市町村

【考え方】

前計画の目標値の1.5倍

■進捗状況 R1：9市町村

【実施市町村】

仙台市，石巻市，気仙沼市，名取市，角田市，岩沼市，登米市，栗原市，川崎町

【H30（7市町）からの増減】

2市増加した。（名取市，岩沼市）

評価指標 6 (i) 技能実習を除く外国人雇用者数（厚生労働省調べ）【各年10月末現在】
(ii) 外国人労働者に係るセミナー・研修会等に参加した事業所数

■指標説明

(i) 技能実習を除いた外国人雇用者の数

(ii) R元年度からR5年度までの合計事業所数

■目標値 (i) R5：12,000人

(ii) R5：1,500事業所

【考え方】

(i) H26からH29までの平均増加率による増加見込み

(ii) 年10%の増加を見込んだ数

■進捗状況 (i) R1：9,118人

【結果】

前年度（7,325人）から外国人雇用者数は1,793人増加した（前年度増加率24.5%）。

(ii) R1：378事業所

【結果】

R元年度は，378事業所の参加。

【内訳】

①宮城県：275事業所

②仙台市：48事業所

③（公財）宮城県国際化協会：55事業所

評価指標 7 文化・習慣等の相互理解の促進に係る取組の参加者数

■指標説明

R元年度からR5年度までの合計人数

■目標値 R5：3,500人

【考え方】

年10%の増加を見込んだ数

■進捗状況 R1：1,926人

【結果】

R元年度は、1,926人の参加。

【内 訳】(松島町、加美町は令和元年東日本台風により、事業を中止。)

- ①宮城県：「技能実習生等との共生の地域づくり推進事業」(参加者290人)
- ②仙台市：「せんだい地球フェスタ2019」(※)
- ③石巻市：「じゃばNeeds塾」(参加者156人)
- ④塩竈市：「塩竈市民との交流会」(参加者120人)
- ⑤気仙沼市：「インドネシア人と食を通じた交流会」(参加者124人)
「インドネシアと小学生のインターネット交流会」(参加者142人)
- ⑥白石市：「料理を通じて世界を知る会」(参加者29人)
- ⑦登米市：「登米市国際まつり」(参加者300人)
- ⑧蔵王町：「世界の料理教室(ベトナム編)」(参加者31人)
- ⑨亘理町：「エジプト料理教室」(参加者25人)
「国際交流フェア in わたり」(参加者100人)
- ⑩七ヶ浜町：「インターナショナルデイズ2019フィンランド」(※)
「料理教室」(参加者36人)
「English Camp」(参加者51人)
- ⑪涌谷町：「英会話教室E-Meet-Up イーミータップ」(参加者8人)
- ⑫美里町：「国際交流フェスタ」(参加者200人)
- ⑬(公財)宮城県国際化協会：「みやぎのふるさとふれあい事業」(参加者31人)
「技能実習生地域共生支援事業」(参加者283人)

※ 当該2イベントについては、入場者数のみの把握となっており、本指標に該当する参加者数の把握が困難であるため、集計対象外とした。